

平成23年11月14日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井睦夫 様

議会報告会	4班
班長	田中 人実
	阿部 治正
	笠原 久恵
	徳増 記代子
	中川 弘
	藤井 俊行
	森 亮二

私の班は議会報告会を開催し、その概要は次のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 日時 平成23年11月13日(日)  
午前10時～午前11時30分  
[前半]午前10時～午前10時30分  
[後半]午前10時30分～午前11時30分
- 場所 初石公民館
- 欠席議員 なし
- 参加者数 48人  
(京都市会議員7人、議会事務局2人含む)

5 報告内容

[前半] 共通テーマ

「予算はどう使われたのか」平成22年度決算

[後半] 各班独自テーマ

- ・流山市の放射能対策について
- ・市議会に求めるもの

## 6 意見交換内容

別紙 森議員の質疑応答の要点筆記を参照して下さい。

## 7 参加者から議会への要望（アンケートより要点筆記）

### 【議会報告会の内容と運営について】

- ・ 議会改革が大分進んでいるので評価します。
- ・ 各議員の説明ありがとうございます。
- ・ 時間が短い2時間ほしかった。
- ・ 市民の意見を聞く会をもっと多く開催してほしい。
- ・ 一般会計決算は基本的事項で終わっているのに、現在の流山の分析をもう少し深く説明してほしい。
- ・ 予算・決算の問題点について具体的に聞きたかった。
- ・ プレゼンのやり方に工夫がほしかった。
- ・ 放射能汚染問題の資料の字が小さくわかりづらい。
- ・ 時間配分が悪く肝心の「市議会に求めるもの」の意見交換ができず残念です。きちんと時間で切ってほしい。
- ・ 放射能汚染の説明が長かったのでは？
- ・ 今度は「市議会に求めるもの」というテーマだけで開催してほしい。
- ・ 市民の意見を伝えるだけが市議の役目ではない。財政的な金額も含めて提案をしてほしい。財政調整基金の活用など財政面の質問をしたかったが時間がなく残念。
- ・ 要望・意見交換の時間が短い。市民の生の声を聞く時間を多く取るべきと思う。
- ・ 参加者に平等に意見発表をできるようにしてほしい。

### 【その他】

- ・ 農産物の放射能による安全対策をとってほしい。
- ・ 議員定数削減を真剣に議論してほしい。
- ・ 小児へのヨウ素剤配布システムを考えてほしい。
- ・ 放射能汚染問題の市民の関心が低いのが残念。焼却灰の放射線の原因が剪定枝や落ち葉とするとグリーンチェーン戦略との関係はどうするのか。
- ・ 放射能汚染問題の速やかな対応を望む。

- ・放射能汚染の健康被害の追跡調査と情報提供を望む。
- ・放射能汚染の対策が後手に廻っている。
- ・市民の内部被爆の治療・発見のノウハウを医師により提供してほしい。
- ・東部鉄道運河駅舎建設への資金提供に疑問。
- ・ある発言者の東部鉄道運河駅舎の工事について東部との癒着があるかのように受け取れる。
- ・原発が止められない本当の理由が知りたい。
- ・人口1万人に一人の議員数にしてほしい。
- ・沿線開発で緑が少なくなっている。緑を守ってほしい。

## 8 所感

田中人実

報告会への参加者数が安定して増加してきている。女性や若い世代の参加者が目立つようになった。アンケートでも議会報告会を公報や回覧で知ったという方も多く事前の開催周知の効果があつたと感じる。

ひとりで多くの質問時間を費やす市民の方も見受けられるが以前ほどではなくなったと感じる。

アンケートの要望や意見にもあるように報告会の内容や意見交換のあり方に工夫の余地がある。特に司会進行については班長として全議員の発言の機会がなかったことや参加者の公平な質問時間が確保できなかったについて反省している。

アンケート回収が27件あり議会報告会を評価するが16件、評価しないは0件であり。「開かれた議会」への一定の成果があつたと思う。

また、報告会終了後に約50分間、京都市会議員との忌憚のない懇談会は貴重な経験であつた。

## 第4回・議会報告会 in 初石公民館 111113

議事録担当：森

### ■「予算はどう使われたのか」質疑応答

1) なし

### ■「放射能問題」質疑応答

- 1) 放射能汚染マップを作成すべき。その際の経費を国に請求すべきでは？  
→文科省が作成した航空写真のものがある。ただし誤差もあるため、市でもやるべきだと思う（阿部）
  
- 2) 現在の測定場所は子どもの遊び場が中心であり、市のグーグルマップは見やすいと思う。  
除染に関しては個人でやることに限界がある。一方でコストが掛かるのは分かる。そのため放射能対策を中心とした基金（市民からの募金）を作って、除染対応（市道など）いただくのはどうか。  
→要望として受け止める。
  
- 3) 市としての対策・対応、市民への周知が後手後手だと思う。柏市や松戸市の方が一歩先に言っている印象を持っている。  
柏市や世田谷の事例をみる限り、市民主体になって放射能問題の対応をしている様子が見受けられる。そのため自主的にやりたいが、機材がないなどの問題がある。そのため予算（補正を含む）の拡充をして欲しい。今までどのような措置をしたのか。  
→事故後、市民が主体になって対応しているのは承知している。（阿部）  
今までは予備費（1億円）で対応してきた他、除染対応で1億9千万ほど使ってきた（田中）。次年度に向けては税収の落ち込みが予想されており、経常経費もカットが予想されるが、行政は放射能問題については優先的措置の方向でいるようである。そこで市民からの要望に応えたい。
  
- 4) 放射能に関して市内でどの程度の損害・被害があるのか。また、その対策はどうか（市民の協力を含めて）を検討すべきだと思う。  
→今までで2億8千万（東電請求分）を使ってきているが、本格的に除染活動すればもっと掛かることが予想される。  
基準をどこに設定するのも必要だと思う。

4-1) 汚染物・除染物の対応に関して、もっと緊迫した問題として捉えて欲しい。廃棄物処理施設をつくるべきではないか。

→お金を積んだから対応してくれるものではない。(阿部)

■「その他」質疑応答

1) 運河駅東口開設の問題。20億円を承認したことについてどのような見解をもっているのか。運河駅東口整備については中止すべきだと思うがどうか。

→地域間格差解消のために必要な整備であると思う(森)

→20年来の課題であるが、協議会なども行ってきた中では進めていかざるを得ない問題(藤井)

2) 来年度予算について。「ながぼん」の普及の支援をすべきだと思うがどうか。要望として捉えたい(田中)